

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	経済企画課
施策	25	雇用の創出	評価 責任者	及川 隆 内線 8210
小施策	25-2	雇用対策の推進	評価 シート 作成者	藤澤 勇 内線 8211

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率は、東日本大震災の復興需要や各種政策の実施などにより平成27年6月以降、1.0倍を超えて推移している。しかし、正規雇用の求人が少ないことや、求人側と求職側のニーズが一致しない雇用のミスマッチが課題となっており、また、企業からは、求人数の充足に至らないという声も寄せられている。このため、学校や盛岡公共職業安定所、岩手県等の関係機関と連携した、求人側・求職側の双方への支援が必要となっている。 新規学卒者の就職内定率は改善されてきたが、就職できないまま社会に出る若年者も少なくないことから、地元雇用の確保や既卒若年者でも就職が可能となる環境の整備が必要である。 岩手県における卒業後3年以内に離職する者の割合は、高校卒、大学卒とも約4割と高い水準で推移し、特に1年以内の離職率が高くなっていることから、働くことの意義や職場定着への理解を深める支援を行う必要がある。	若者の就労が円滑に図られるように、地元企業の紹介などにより、求職活動を支援するとともに、地元雇用の場の拡大に向けた取組を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
求職者 管内企業	地元で就業しやすくなる 必要な人員が確保される

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標① 盛岡公共職業安定所管内の年度別有効求人倍率	単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析	問 題 点
当初値 (H25) 0.94	倍	↑	・求人倍率は目標値を超えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の人手不足は深刻であり、企業の採用意欲が高い状況にある。 ・盛岡就職面接会を開催し、企業と高校生のマッチングに取り組んでいる。 ・企業の採用力向上セミナーを開催するなどして、企業の人材確保を支援している。 ・高校生インターンシップ事業を実施し、企業の周知に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の企業と比較し、管内企業の知名度が低いことから、就職先としての選択肢に入っていない可能性がある。 ・管内企業の多様な働き方への対応が滞っている可能性がある。
R1目標値 1.00					
R6目標値 1.00					
			・管内企業の採用意欲は高いものの、必要な人員を確保できていない企業もある。		

今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★若者地元定着強化事業を通じ、企業の採用力向上を支援する。 ★盛岡広域管内市町及び盛岡広域振興局の連携によるインターンシップ事業を実施し、管内企業の周知に努める。 ★テレワークなど多様な働き方の導入に向けたセミナーを開催するなどして、企業の取組の促進を支援する。 ☆1 首都圏等の他都市へ進学等した学生等に対して、管内企業の情報提供に取り組む。 	